

執筆者紹介（**……本報告書編集長、*……同編集委員）

市原宏一（いちはら こういち）

1959 年生まれ。大分大学経済学部教授。

主要論文：

- ・「外来と土着 ～考古学資料を基にしたバルト南岸地域史研究の課題～」藤井美男・田北廣道編著『ヨーロッパ中世世界の動態像 ～史料と理論の対話～』九州大学出版会、2004 年、313-345 頁。
- ・「『民族』的危機と社会的求心力としての王権 ～エルベ＝オーデル間スラヴ人の場合～」角田文衛・上田正昭監修、初期王権研究委員会編『初期王権の誕生 第 IV 集ヨーロッパ編』角川書店、2003 年、207-226 頁。
- ・「中世前期バルト海南岸における交易と定住ネットワーク ～北西スラヴ社会における交易地の意義について～」田北廣道編著『中・近世西欧における社会統合の諸相』九州大学出版会、2000 年、3-32 頁。

伊東豊（いとう ゆたか）*

1973 年生まれ。名古屋大学大学院人間情報学研究科博士後期課程在学中。

主要論文：

- ・「ベルセルクと北欧社会」『情報文化研究』第 9 号、1999 年、135-153 頁。
- ・「初期北欧の超自然観と社会変化」『情報文化研究』第 17 号、2003 年、21-41 頁。

今村栄一（いまむら えいいち）*

1973 年生まれ。名古屋大学大学院人間情報学研究科博士後期課程在学中。

主要論文等：

- ・「「辺境」における「公」のあり方」『古代ロシア研究』XX、2000 年、63-94 頁。
- ・「都市ノヴゴロドの成立——最近の考古学研究を中心に——」『ロシア史研究』75 号、2004 年、74-84 頁。

熊野聡（くまの さとる）**

1940 年生まれ。名古屋大学名誉教授。現豊田工業大学教授。

主要著書・論文：

- ・『ヴァイキングの経済学』山川出版社、2003 年 1 月。
- ・「ヴァイキング「商人」と地域の創出」『市場の地域史（地域の世界史 9）』山川出版社、1999

年、290-325 頁。

・「ヴァイキング社会論」『ヨーロッパの誕生（講座世界歴史 7）』岩波書店、1998 年、267-290 頁。

角谷英則（かどや ひでのり）

1970 年生まれ。津山工業高等専門学校講師。

訳書：

・『ヴァイキングと都市』東海大学出版会、2001 年。